



児童発達支援における本人支援の内容と5領域の関連性

理念 「自分の知らないことを知る」
こどもの自由な心・好奇心、この始まりを大切にし
こどもの知りたい世界を広げていく

本人支援					家族支援	移行支援	地域支援 地域連携	職員の質の向上
健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性				
健康管理・体調管理 定期的に体温や体調をチェックし、異常が見られる場合には適切な医療機関への連携を行います。また、保護者との連携を深め、家庭での健康管理もサポートします。	・季節の音楽ダンスを楽しもう ダンスでは季節を感じながら体を楽しく動かしていきます 「たけのこたいそう・フルーツポンチ・ひまわりサン体操・ハッピーハッピーハロウィン・きらきら星・おんせんはいろっか」など上体の動きが特徴を表し楽しいもので、足の動きがわかりやすく穏やかなものを選んでいきます	・数量の基礎「みつけよう」 「ある」と「ない」を知ろう ・物の形を見てみよう 身の回りの「まる」「さんかく」を見たり触れたりしてみよう ・物の大きさを触れながら比べてみよう 「おおきい」「ちいさい」「多い」「少ない」「ながい」「みじかい」	・言葉の響きやリズムを楽しもう 言語では身近なものの名前からはじまり、日常の取り組みの言葉、生活の中で感じる気持ちへと発展させ、言葉と言葉を繋いでいきます オノマトベも活用し、言葉のリズムの楽しさやイメージを感じられるようにします ①言葉が表すものを手で触れて感じよう ポール、タオルなど	・好きな遊びをみつけよう ①色々なおもちゃに触れてみよう ②好きなおもちゃでたくさん遊ぼう ・友だちと同じ遊びをしよう ③自分の好きな遊び、友だちの好きな遊びどちらもやってみよう ・友だちと一緒に遊ぼう ④自分の好きな遊び、友だちの好きな遊びどちらもやってみよう	保護者との連携 子どもの発達や支援に関して、家族と密に連携し、保護者の不安や悩みに寄り添った支援を行います。定期的な面談や相談の機会を設け、家族の意見や希望を反映させた支援計画を作成します。 ・送迎支援 ・入浴支援	移行計画書作成 発達段階や特性に応じて、次のステップに進むための個別の移行計画を作成します。これには、保育園や幼稚園への転園、小学校への入学など、移行先に向けて必要な支援を明確にし、具体的な支援方法を設定します。	地域資源の活用 地域の施設やリソース（公園、図書館、公共交通機関など）を積極的に活用し、子どもたちが地域社会の一員としての感覚を養えるよう支援します。例えば、散歩や買い物、地域イベントの参加を通じて、地域の中で日常的な体験を重ね、社会性を高める機会を提供します。	定期的な研修 スキルアップの機会 外部研修で得た知識をスタッフ全体で共有し、勉強会や伝達講習を実施します。また、日々の子どもの成長を通じて、必要な支援について皆で考え、統一された支援を継続できるよう、知識や技術を習得するための時間を設けます。 ・感染対策 勉強会、研修参加 ・虐待・身体拘束防止委員会 ・研修参加、事例検討会
基本的な生活スキルの獲得 日々の生活の中で規則正しい生活習慣を身につけることができるよう、生活リズムの形成をサポートします。例えば毎日のルーチン（朝の支度、食事、遊び、休憩、トイレなど）を整えることで、子どもたちの体と心が健やかに育成されるよう支援します。	・揺れ遊び・すべり遊び ・ボール遊び・砂遊び ・粘土遊び・水遊び・プールなど 全身を使って動きを感じられる遊びや感覚を楽しめる遊び ・お散歩、公園へ行こう 地域の交流や季節を感じながらお出かけをします	・色を楽しもう 色々な色を見たり体で触れたりしながら遊びを通して色に親しみ好きな色を選んでいく 自分の好きな色に気づき、意識する中で自分の個性を表現する方法を知る 保護者と共に家族の色を選ぶことで親子の交流にもつなげていきます 日替わりで日本の景色の写真を見ます 美しい景色に触れ感性を育み、季節の移り変わりや色の美しさに気づいていきます	②自分の体に触れられながら名前を聞こう 手、足、顔など ・生活の中の言葉を知ろう ③日常生活の中で繰り返す行動や行為を実際に行ったりカードを見たりしながら名前を聞こう お風呂に入る 手を洗く など ④生活の中で感じる気持ちの言葉をカードを見ながら聞こう 楽しい、寂しい、気持ちいいなど	⑤自分の好きな遊び、友だちの好きな遊びどちらもやりながらやりとりをしてみよう ・地域交流 おもちゃ図書館へいこう	支援の実施 家族が抱える悩みや困難に対し子どもの特性や家族の生活状況に応じた個別のアドバイスや情報提供を行い、日常生活の中で直面する問題解決に向けたサポートを行います。	関係機関との連携 地域の保育園や学校、医療機関、福祉機関などと密に連携を取ります。これにより、子どものニーズに合った支援を実施し、移行先での不安を軽減できるようにします。	包括支援 地域全体で子どもたちを支えるために、保護者、福祉、教育、医療などの関係機関と協力し、包括的な支援体制を構築します。子どもの成長や発達に必要な支援を多角的に提供できるよう、情報共有や連携を行います。また、地域の特性やニーズに応じた支援の調整を行い、より効果的な支援ができるよう努めます	チームワークの強化 定期的にスタッフ間でのミーティングを開き、子どもへの支援方法や日々の活動内容について共有し合います。意見交換を通じて、チーム全体のスキルアップを目指します。
・落ち着ける空間・リラックスできる訓管 ・季節の製作 季節の行事や他の領域の取り組みと関連付けた製作に取り組み、行事への関心や意識を高めます。楽しみに待ち遠しく思う気持ちを育みます 製作物を展示することで、できたを喜びを共有します			⑤日常生活の中で繰り返す行動や行為の名前を、実際に行ったりカードを見たりしながら聞こう お風呂に入って気持ちいい お友だちと手を繋ぐ など	保護者会 家族同士の交流やネットワークングの場を作ることで、孤立感を軽減し、サポートの輪を広げます。保護者が自信を持って子どもを支援できるよう、家族の力を引き出す支援を提供します	就学前・就学後の支援の橋渡し 保護者と定期的に面談を行い、移行に関する情報を提供し、必要なサポートと一緒に考えます。また、子どもにとって最適な環境に移行できるよう、保護者とともに支援計画を共有し、進捗を確認します。		サポート体制 職員の心身の健康をサポートする体制を整えます。ストレスマネジメントやメンタルヘルスに関するサポートを提供し、職員が良好な状態で業務に取り組めるようにします。定期的なリフレッシュ休暇や休息の時間を確保し、職員のモチベーションを維持します。	

支援方針

こどもの成長にしっかり目をつけ、多様な遊びや体験活動などを通して、生きる力や自立心を育てていく。
こどもの家族の意向を受け止め、子どもと家族の安定した関係に配慮し、きょうだいを含めた家族をトータルに支援していく。
こどものライフステージや家族の状況に応じて、切れ目のない一貫した支援を提供します。